

令和6年度第2回番組審議委員会議事録

- 1 開催年月日 令和7年2月21日（金） 16:00～
会場 本社役員会議室

2 委員の出席

- ① 委員総数 9名
② 出席委員数 6名
③ 出席委員 小林慶太郎（四日市大学 教授）
笹岡邦清（暁石齋株式会社 代表取締役社長）
藤井博光（元ライヴカフェ フルハウス元店主）
出口 功（菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長）
三輪栄子（元四日市シルバー人材センター）
油田 晃（（公財）四日市市文化まちづくり財団）
- ④ 欠席委員
服部洋明（メガネの隆明堂 店主）
堀内あかね（菰野町観光協会）
中島颯馬（四日市大学環境情報学部 学生）
- ⑤ 放送事業者側出席者氏名 藤生とも子（地域情報部 部長）
諸岡 太（CTY-FM 局長）
山本浩之（CTYFMチーフディレクター）

3 審議番組

番組名 「湯の屋発！青春らじお」
毎週木曜日 PM 19:00～19:29

番組名 「聴くたび 音鉄 四日市あすなろう鉄道」
2025年 正月特番

4 開会挨拶・報告

- ① 開会挨拶（地域情報部 部長 藤生とも子）
- ・2月大雪が降った。菰野町とラジオが連携しての警報に対応し実績を残した。
 - ・開局から続いたレギュラー番組「人に巡り合う旅」が、最終収録となった。長年の努力を労い花束で送った。で、スタッフ一同で感謝を伝えた。

② 近況報告 (CTY-FM局長 諸岡太)

- ・FM よっかいち時代から引き継いできた体制だったが、CTY として審議委員会の見直しを図ってきた。新年度からは、テレビ・ラジオ同じ審議委員で再組織し、スタートを切ることとした。退任される方には御礼を、再任される方は新年度また宜しく願いたい。

5 審議内容

5-1 番組概要説明 及び 番組聴取 【別紙 番組紹介資料 参照】

「湯の屋発！青春らじお」

毎週木曜日 PM 19:00~19:29

番組主旨 湯の山温泉 涙橋 湯ノ屋亭主・森スケさんとラテン系オヤジ山ちゃんとの台本もスジガキもない“The ッ談”スーパートーク番組！湯の山温泉・御在所岳の今昔話から今どきの時事・世相まで。

ラヂオを聴いて“大人の階段”を登ったオヤジ二人のたわいもない話の中に、ひょっとすると明日を生きるヒントがあるかも？昭和テイストいっぱい薄～いようで濃密な30分間です。

委員：湯ノ屋は何屋？森さんは何歳？

委員：ユースホステルはいつあった？昔、観覧車があったことを思い出した。

委員：二人の気心知れている感じが伝わって、よかった。

委員：反響などは？ → 街頭で声をかけられるようになった。

委員：録音はどこで？ → 店内で収録している。

番組名 「聴くたび 音鉄 四日市あすなろう鉄道」
2025年 正月特番

番組主旨 2025年3月27日に開業10周年を迎える四日市あすなろう鉄道の音源を完全に残すとともに、ナローゲージの魅力をトーク番組とは違う表現で伝えたかった。

あすなろう四日市駅から内部まで17分。その間の車中音源と運転士の業務音声を完全録音。また、あすなろう鉄道様に全面協力を頂き、運輸業務にかかわる職員の皆さまがどのような愛情と緊張感で携わっているか、通常では伺うことのできない「声」を活かして構成し、安易にプロアナウンサーでしゃべり倒すのでない、生の声が語りかける力を意識して制作した。

- 委員： 女性ナレーターでなく、鉄道マンの声で聞いて欲しかった。
委員： 突然の声に誰だろうと思った。
委員： 車内のシート配置を説明できなかったか？
委員： もう少し、電車の音を聞きたかった。 ← 審議用ダイジェスト
委員： いい試みだった。社内の賑わい（四日市の方言とか）。これで29分は凄いなと思った。区間ごと千切って5分位の枠で、再活用してはどうか。

局長： 貴重なご意見をたくさんありがとうございました。
地域の方に地域を知っていただく思いを今後も伝えていきたいと思っています。またご意見やご感想などがございましたらその都度、ご教示いただきたく存じます。

6 記事の公示

CTY-FM ホームページにて公示

以上